

カナザワ ケンチク サンポ vol.3

コウリンボウ・ナガマチ・チュウオウドオリマチ
カタマチ・シラギクチョウ・センニチマチ

金沢建築散歩 香林坊・長町・中央通町・片町・白菊町・千日町



KANAZAWA STUDENT COMMUNITY CIVIC CENTER



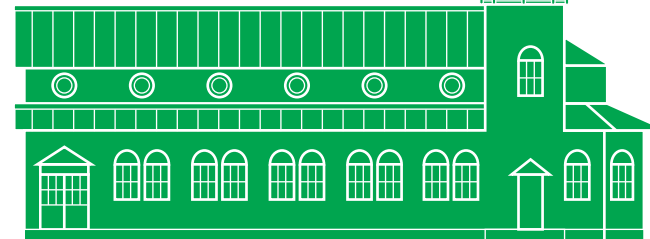
NOMURA SAMURAI FAMILY RESIDENCE



SAIGAWA BRIDGE



MURO SAISEI KINENKAN MUSEUM



CHURCH OF KANAZAWA SEIREI HOSPITAL



A マックス・ヒンデル
Max Hindel

スイス人建築家の作品

15年間日本に滞在し、各地で教会建築を手掛けたスイス人建築家マックス・ヒンデルによるもの。昭和6年竣工。来日前はオーストリアのウィーンやチロル地方で設計活動を行っていたため、本建築の鍾楼には尖塔型の屋根がかかるなど、チロル風の特徴が見られます。

カナザワ セイレイビョウイン セイドウ

金沢聖霊病院聖堂

CHURCH OF KANAZAWA
SEIREI HOSPITAL

日本の感性×西洋の感性



C 三廊式バシリカ平面
Basilica

堂内は三つの廊が並ぶ三廊式バシリカ平面

堂内は三つの廊が並ぶ三廊式バシリカ平面となっていて、左右の側廊が正面の主祭壇に続く身廊を挟み込んでいます。側廊上部には石造の形態を木造で再現した交差ヴォールトを見ることが



B ステンドグラス
Stained Glass

まちに馴染んでいたのかも

木造平屋建て建築であるものの、高さを低く見せるために二層に分けたデザイン。側面上層には円形窓を、下層には二対の円形アーチの滑り出し窓を配置。どちらにもステンドグラスがはめられており、柔らかな印象を与えます。白い外壁に、隅角部の付柱や窓框を焦げ茶色に塗りメリハリをつけています。創建時は緑色の外壁だったらしく、当時は緑色と焦げ茶色の組み合わせが、長町の土壌の連なる風景に馴染んでいたのかもかもしれません。

ブケヤシキアト ノムラケ

武家屋敷跡 野村家

NOMURA SAMURAI FAMILY RESIDENCE

米庭園誌日本庭園ランキング3位の名園



A 野村家
Nomura Samurai Family Residence

加賀藩士・野村伝兵衛信貞の屋敷跡

敷地は代々前田家の奉行職を歴任してきた加賀藩士・野村伝兵衛信貞の屋敷跡。武家制度の解体を受け、庭園の一部を残して館は取壊されました。持ち主が転々とした後に、「北前船」船主であった久保彦兵衛が藩主を招いた豪邸の「謁見の間」「上段」を移築したのが現在の野村家跡です。



B 日本庭園
Japanese Garden

有無を言わせぬ密な日本庭園の世界

高低差のある園内には、一見過剰すぎる程の樹木、灯籠、庭石、曲水が見事なバランスで配置され、ぐっと引き込まれる密な世界が広がります。錦鯉が住まう曲水が濡れ縁下まで続き、苔むした大小様々な名石、奇岩が目線と奥へと誘い、狭さを感じさせません。初夏には蒼蒼とした緑が、冬には6尺もある4つ脚の大雪見灯籠の蔭翳いを見られます。米庭園誌の日本庭園ランキング3位、ミシュラン2つ星の小堀遠州好みの「真の庭」の代表格として高く評価されています。



C 樹齢400年のヤマモモ
Yamamomo of 400 years old

野村伝兵衛の郷愁

尾張出身であった野村伝兵衛は、郷愁から尾張の樹木を庭園に取り入れようと色々試みますが、気候の違いから根付くものは多くありませんでした。ヤマモモは、うまく根付いた尾張ゆかりの樹木のひとつで、樹齢は400年を越えています。



D 上段の間と謁見の間
Jodan-no-ma Ekkenn-no-ma

紫檀・黒檀の間

藩主を招いた上段の間は、当時の高級輸入材であった紫檀や黒檀に緻密な細工を加えた木材をふんだんに使用。天井は総檜づくりという格調高い作りに。また襖絵は、狩野派の最高峰佐々木泉景が描いた山水画と、大聖寺藩士の山口梅園作の大胆な白い牡丹が印象的です。



A 旧佐野家
Former Sano House

大正5年の建築をリノベーション

カナザワ ガクセイノマチ シミンコウリュウカン

金沢学生のまち市民交流館

KANAZAWA STUDENT COMMUNITY
CIVIC CENTER

資産家・旧佐野家の邸宅をリノベーション！
学生と市民のまちづくり活動の場



B ふすま絵
Fusuma-e Painting

嗜好にとんだデザイン

本部宅は故・佐野久太郎氏の嗜好に合わせて建築された特徴的な構成になっています。ただの住まいではなく、遊びが盛り込まれた普請道楽の邸宅です。2階10畳のノ間横の襖には、雪景色の松の



C アズマダチの外観
Azumadachi

近代和風住宅

主屋は切妻造瓦葺き妻入りで表門と築地塀を構え、土蔵を備えたたちの高いアズマダチの外観は、周囲が藩政期に武士居住地であったことを彷彿とさせます。妻面の東、貫を表としたアズマダチの壁には黒漆喰を塗り、外壁は押縁下見板張り。2階部分には出窓を設け、金沢特有の細い出格子である木虫籠(キムスコ)が付けられ、近代和風住宅となっています。



D 交流ホール
Hall

旧料亭かわ新の部材を利用

佐野家横の鉄骨造の交流ホールの中には81畳もの大広間。"旧料亭かわ新"の取り壊しの際に、2階の大広間の部材を金沢市が保管。それを再利用し、元の3分の2サイズで再現活用とされた、近代和風住宅となっています。



A 誕生の地
Place of the birth

ふるさととは遠きにありて思ふもの

「ふるさととは遠きにありて思ふもの、そして悲しくたふもの」で有名な詩人・小説家室生犀星の記念館。敷地は犀星の生家跡であり、生後もまな



B 空間構成
Space Composition

町家的な空間構成

町家独特の「ミセ・坪庭・チャノマ・座敷・裏庭」の構成に、明暗のリズムを取り入れています。自然光の多い開放的な空間は創作オブジェの展示スペースとなっており、犀星の見ていた原風景を思い起こさせます。生原稿等の展示物は、蔵に見立てた、敷地奥の太陽光が入らない展示スペースに。



C 庭
Garden

2つの水盤

2つの水盤は床下で繋がっており、裏庭から中庭へと水が流れ込みます。水の揺らめきに太陽が反射し白くきらめく様子は雄大な犀川を模しています。庭づくりが趣味の犀星のコレクションである、つくばいや石塔を中心に庭は設計されており、犀星の匂いにも登場する苔の木が植えられています。

ムロオサイセイ キネンカン

室生犀星記念館

MURO SAISEI KINENKAN MUSEUM

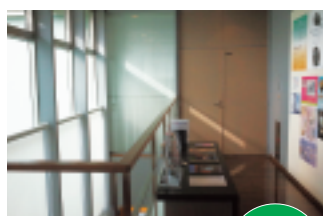
室生犀星の故郷の原風景



D ファサード
Facade

現代材料で作る「和」

正面ファサードのガラス面には、ガラス繊維を挟み込み、障子のような仕上がりに。アルミ材屋根とし、中庭の隣地壁面には格子代わりに、ファイバークレーチングを使用し、伝統的なものを現代の材料を使って表現をしています。



E 特別な空間
Special Room

犀星ファンの集い

2階の一角には、通常は入ることの出来ない、会議や講座に使用する研修スペースが。犀星の魅力をより多くの人に、より深く知ってもらうためには欠かせない作戦部屋です。

これであなとも長町通！

ナガマチの レキシをマナブ

長町は藩政期に武士の邸宅が並ぶ居住区でした。現在も武家地の名残として、敷地正面や玄関脇に見越しの松を有する家も多く、地区内に残る庭園と庭木によって、緑豊かなまちなみを生み出しています。連続する土塀、門、伝統的な建造物、庭園、大野庄用水という歴史ある景観が色濃く残る町です。



A 景観地区
Historic Area

夜間景観整備計画の取り組みも

市街地の良好な景観の形成を図るため、景観法に基づいて、都市計画として定める地区のことで、金沢市は長町武家屋敷跡周辺地区を北陸初の景観地区に指定しました。また長町



B 大野庄用水
Onosha-yousui

金沢でもっとも長い歴史をもつ用水

1590年頃につくられた金沢で最も長い歴史をもつ用水です。灌漑、物資運搬、防火、防衛、融雪などの多目的用水でしたが、金石港から金沢城築城用の大量の木材を運ぶためにも使



C 鞍月用水
Kuratsuki-yosui

金沢製糸場の原動力として利用

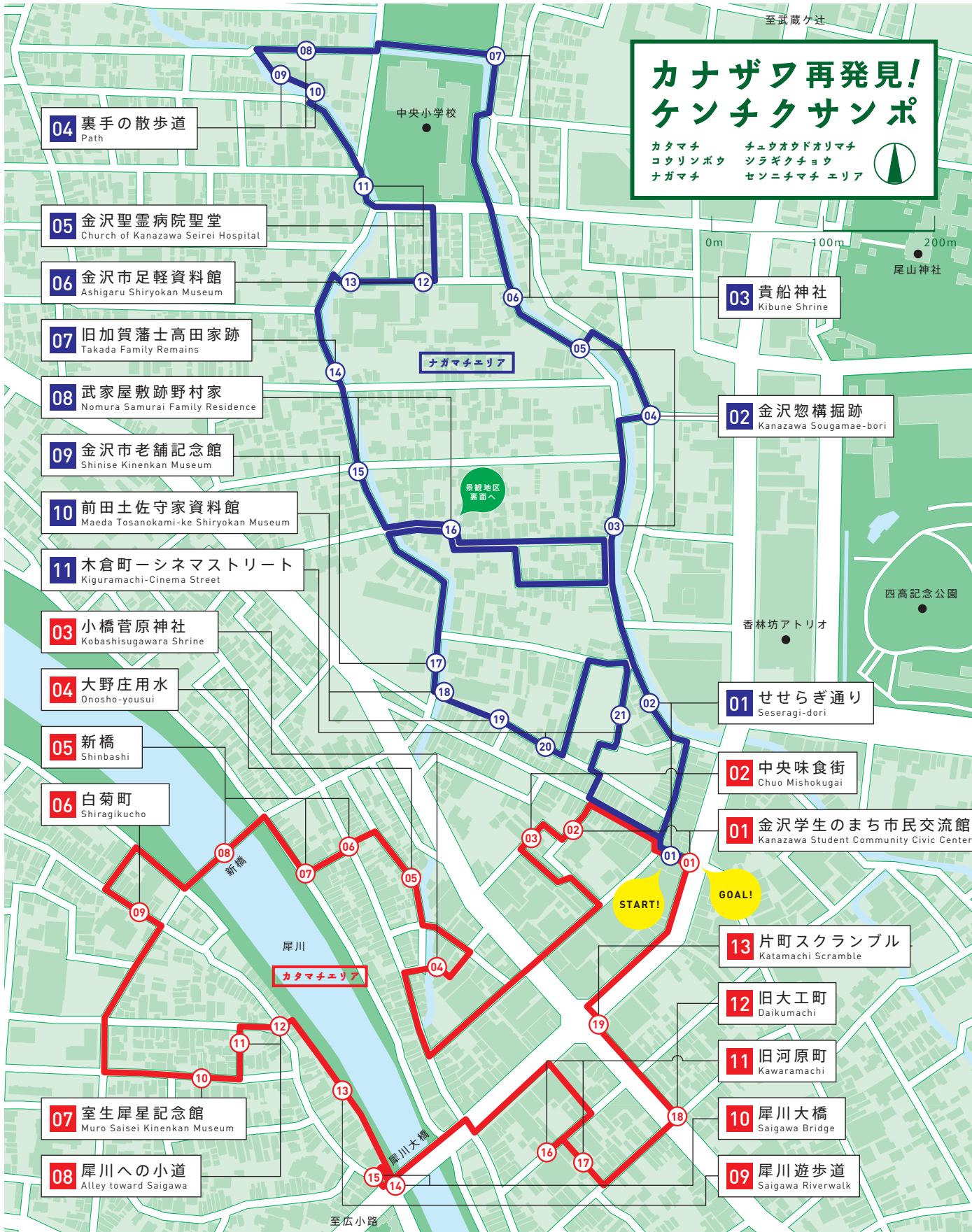
1600年代前半に水力を利用して菜種油を採る目的で灌漑用に造られ、一部区間は金沢城の外堀である「西外堀橋」に利用されました。また明治・大正期に中央小学校付近では、金沢製糸場の原動力として利用されていました。



D 金沢惣構堀
Kanazawa Sougamae-bori

内・外二重の惣構堀

「惣構」とは、城下町を囲い込んだ堀や土井などのことで、安土桃山・江戸時代初めに、日本各地で築かれました。金沢城には内・外二重の惣構がつくれ、長町付近ではせせらぎ通りに沿って「西外堀橋」を見ることができます。



ナガマチ・カタマチをあるいてみよう！

KANAZAWA KENCHIKU SANPO ORIGINAL COURSES

金沢の始まりとともに流れ続けてきた用水。サムライも毎日あるいた長町の小道。多様な歴史と建築が混在する片町界隈。時代は移れど先人の描いた景観はいまも変わらず人々の生活に浸透しています。

金沢工業大学
宮下研究室の
学生が取材！

サンボリカソノメヤス 01 21 ナガマチエリア 徒歩約75分 01 20 カタマチエリア 徒歩約60分



01 せせらぎ通り
Saseragi-dori

さぁサンボスタート。

⑩大通りから一本裏手に入って頂いて、さぁサンボスタート。道は狭いが車多め、ご注意。
⑪歴史探索も自然も買ひ物もここでゼーンぶ楽しめるって、なんて魅力的なストリート。



02 金沢惣構堀跡
Kanazawa Sougamae-bori

道路下にて用水が！

⑫きれいに積まれている石は金沢惣構堀の一部。どこどこが繋がっているのか、目で追いつながら散策すると、金沢の中心(金沢城)が見えてくるかも？
⑬気にせず歩けば気づかない、ゆっくり歩けば見つかる噂のお店。
⑭あ、道路の下まで用水が広がっていることに気づけましたか？反対側から見ると新しい発見。



03 貴船神社
Kibune Shrine

用水の向こう側に

⑮用水にせり出した大きな松の奥にホラ、鳥居が。縁切りを望む者は川の中を渡り、縁を結ぶ望む者は神社の後ろからというなかなかハードな参り。
⑯働く用水、鞍月用水。



04 裏手の遊歩道
Path

駐車場には昔何が建っていたのだろう？

⑰あったはずの建物が消えて、隠れていた向こう側のお家のお庭が軒並みごんごんに。⑱塙と用水の間の遊歩道。入口と出口にかかっている短い橋にもすべてお名前付いています。
⑲用水の上にてまで攻めているデッキはこの場所にあるお家の特権！用水の音と風を感じスィカでも…なんて想像水辺ライフ。



05 金沢聖霊病院聖堂
Church of Kanazawa Seirei Hospital

金沢らしい木造版ロマネスク教会

⑳用水の音、木々の葉擦れ、柔らかな木漏れ日、野球少年と黄色の帽子の小学生、そんな通学路。
㉑金沢らしい木造版ロマネスク教会。昭和6年にスイス人建築家により建てられました。



06 金沢市足軽資料館
Ashigaru Shiryokan Museum

低身分武士の家

⑳飛脚も参勤交代もこなした低身分武士の家は庭付き一戸建てでした。



08 武家屋敷跡野村家
Nomura Samurai Family Residence

ああ、日本庭園ってこういうこと

㉒さぁあ立って眺めてないで緑線低目線正座スタイルでどうぞご覧ください。「ああ、日本庭園ってこういうことなのね」そう感じさせてくれる野村家の庭園は米国家庭園誌で3位に選ばれた実力派。
㉓土塙が続く石畳の小路は長町のアイデンティティ。敵が攻めつらいように道を力字型に折れ曲げてあります。冬の薦掛けも要チェック。詳しくは裏面を！



09 金沢市老舗記念館
Shinise Kinenkan Museum

老舗のみせの間に釘付け

㉔ガラス戸に顔をくっつけ覗きますと、100年をこえて愛されてきた老舗のみせの間に目は釘付け。



07 旧加賀藩士高田家跡
Takada Family Remains

池泉式回遊庭園

㉕昼間しか開かない門の中には藩政時代の池泉式回遊庭園の世界が詰め込まれています。



01 金沢学生のまち市民交流館
Kanazawa Student Community Civic Center

切妻造りの大屋根

㉖さぁサンボスタート。⑳飲食店が立ち並ぶ街の中に突如あらわれるのは土蔵付きのアズマダチの家屋。リノベで邸宅から、学生と市民の交流の場に大変身。ちょっとサロンへお邪魔します。



02 中央味食街
Chuo Mishokugai

怪しさ満点、楽しさ満点、味も満点の別

㉗まるで映画のセットのような平屋建てでバツグンな飲食街、6〜7人で満席の店内に足を踏み入れれば怪しさ満点、楽しさ満点、味も満点の別世界。ディープな金沢に心して臨むべし。



04 大野庄用水
Onosho-yousui

用水とお別れ

㉘先ほどの武家屋敷へと続く大野庄用水では時折ホタルも姿を見せるとか。せせらぎ通りに流れていた鞍月用水とはまた別の用水となっていますので、ご注意を。さて今まで一緒に歩いてきた用水とはY字でお別れです。さて住宅街を横切りますので、お静かにお進みくださいまし。



05 新橋
Shinbashi

生活を隔てる犀川

㉙肩をすぼめススススッと抜けましょう。㉚突き当たり犀川、川沿いではお飯屋さんやぎざちり。夜にほろ酔い気分ですくくと気持ちのよい道。㉛犀川大橋方向をご覧ください。左手には高いビル群、右手には低い住宅地、犀川が生活を隔ててあります。



07 室生犀星記念館
Muro Saisei Kinenkan Museum

ふるさととは遠きにありて思ふもの

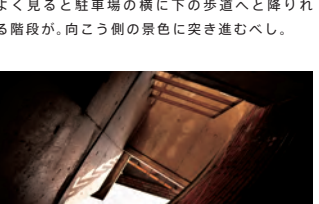
㉜「ふるさととは遠きにありて思ふもの…」詩人であり小説家でもある室生犀星の記念館。犀星



08 犀川への小道
Alley toward Saigawa

向こう側の景色につきすむべし

㉝大人が1列で進むのが丁度の道は、その奥に住む住人専用小道。周囲の道がアスファルトになると、ありのままの姿で頑張り中。㉞さて次は右に進む？左に進む？いや、まっすぐ！よく見ると駐車場の横に下の歩道へと降りれる階段が、向こう側の景色に突き進むべし。



10 犀川大橋
Saigawa Bridge

犀川大橋のCOOLな一面

㉟犀川大橋下は無機質な配管と意外にも静かな空間。いつも見ているアイツのクールな一面。
㊱橋の上へと続く階段、見つけることができましたか？ゆっくり気をつけて階段を上ると交番の横にこんには。



12 旧大工町
Daikumachi

藩の大工衆が住んだ町

㊲金沢城までもが燃えた寛永の大火後、拝領地を受けて藩の大工衆が住んだことからついた町名大工町。つらつら連なる長屋の形状を思い起こす、細長い町となっています。



09 犀川遊歩道
Saigawa Riverwalk

毎日の散歩道

㊳犀川橋の遊歩道には、しっかり手入れされた花壇が。子供から犬まで気持ちよく歩ける歩道は、地元住人の毎日の散歩道。



11 旧河原町
Kawaramachi

犀川の河原が広がってありました

㊴実は昔はこの辺りまで犀川の河原が広がってありました。犀川の改修に伴って新たに作られたのがここ、旧河原町。川沿いまでぎざぎざに建物や建ち並んであります。㊵細長い路地にお店がぎゅっり並んで自己主張。巷で噂のやっば〜の声も聞こえてくるかも？



13 片町スクランブル
Katamachi Scramble

北陸地方最大?!金沢のスクランブル交差点

㊶歩けば何かある、片町と真ん中飲食街は夜が本業。深夜から朝方まで大勢の人々が行き交います。北陸地方最大のスクランブル交差点といえはここ！記念にスクランブルってください。